

歯科衛生士科 3つのポリシー

ディプロマポリシー(卒業までに身に付けるべき資質)

建学の理念に基づき専門職業人として必要となる知識・技術・態度、考え方をもち、社会に貢献できる人材を養成します。

1. 歯科衛生士として必要とされる知識・技術、国家資格等を取得する。
2. 歯科業界、歯科関連業界との密接な連携により、歯科医療従事者としての自覚と人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身に付けている。
3. 『患者様のためにチームで働く』を体現すべく、必要となるコミュニケーション能力を有し、自己理解と他者理解ができる能力を有している。
4. 患者様に寄り添い真のニーズを捉え、問題解決までのプロセスを考え、介入ができる能力を有している。
5. 能動的な学びを通じて、自ら学ぶ姿勢と課題発見、解決する能力を有している。

カリキュラムポリシー(教育課程の編成、実施方針)

専門職業教育とキャリア教育を体系的に一体化した職業人教育カリキュラムと国際感覚を身に付ける国際教育カリキュラムを提供します。

また、科目群は基礎科目群、専門基礎分野科目群、専門分野科目群に大きく分類し、それぞれの科目内容の持つ教育的な性格、位置づけを明確にします。

1. 歯科業界、歯科関連業界との連携による実習を重視したカリキュラムや臨地実習等を提供する。
2. 入学者全員の人的成長とキャリア設計を支援する。
3. 「基礎科目群」は自分の適正を把握し、「目的意識」持って学習に取り組む姿勢の修得、学習へのモチベーションを向上する科目群として編成する。
「基礎専門科目群」はプロに必要な態度、思考、倫理とそれらの基本となる知識を身に付け、職業人、専門職として疑問や課題について考えを深めていく科目群とする。
「専門分野科目群」はその仕事に必要な専門的な知識・技術・資格およびそれを現場で応用し役立てる力を育てるプログラム群となる。また実際の現場での実習体験を通して技術、知識の向上を図る。
4. 成績評価は、科目の特性に応じて適切かつ多様な評価方法と基準を設ける。

アドミッションポリシー(求める人材像)

歯科衛生士科で学ぶことを強く望み、資格取得や専門就職に向けて、強い意欲を持って取り組むことのできる以下の人材を受け入れます。

1. 歯科衛生士としての専門性を最大限発揮するために、使命と責任を自覚し、全ての人を対象とした口腔衛生活動ができる心身ともに健康な人。
2. 歯科衛生士としてのキャリアの中で必要な専門的知識と技術・態度だけでなく、社会の変化に応じ自己研鑽・生涯学習に努め、社会に貢献することを目指す人。